

第 26 回 関西コロイド・界面実践講座

徹底解説！ 最先端の界面計測 ・評価技術

2025
1/10 (金)

同志社大学今出川校地 (京都市中京区)
・オンライン (ハイブリッド開催)

界面・コロイドの科学は、生活用品やヘルスケアからエレクトロニクスまで非常に幅広い分野の製品や材料に深く関わっています。分子オーダーでの観察・評価により界面の状態や特性を深く理解することは、それを利用した新たな機能や付加価値をもつ材料・製品開発のための大きな原動力になります。

この講座では、最近注目されている最先端の界面計測・評価技術について、この分野でご活躍されている先生方をお招きして、基礎原理から応用事例まで詳しく、わかりやすく解説していただきます。最先端の計測技術・研究に触れることで、コロイド界面の新たな知見や開発のヒントをつかむ絶好の機会です！多数の皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム

10:00-10:50

「TEMによる水系分子集合体の構造評価 -Cryo法を中心に-」
原安 主馬 氏 (奈良先端科学技術大)

11:00-11:50

「ナノピペットを用いた細胞表面イメージング・センシング」
高橋 康史 氏 (名古屋大)

13:00-13:50

「周波数変調原子間力顕微鏡 (FM-AFM) による固液界面の観察」
森口 志穂 氏 ((株) 島津テクノリサーチ)

14:00-14:50

「粒子吸着や生体膜相互作用解析を通じた水晶振動子
マイクロバランス (QCM-D) の定量的解釈の考え方」
振角 一平 氏 (花王 (株))

15:00-15:50

「TD-NMR (パルス NMR) による微粒子界面評価および分散性評価
～評価原理から応用事例まで」
池田 純子 氏 (マジェリカ・ジャパン (株) / 東北大)

16:00-16:50

「X線・中性子小角散乱を用いたミセルおよび泡沫の構造解析」
吉村 倫一 氏 (奈良女子大)

詳しい情報・お申込み

<https://colloid.csj.jp/202411/26-kansai ColloidKaimenzissenkoza/>

お問合せ

kansai@colloid.csj.jp

